

# 結核研究所に 対策支援部誕生！

結核研究所対策支援部長 山下武子

はじめに

昨年7月26日に出された厚生大臣による「結核緊急事態宣言」を受け、結核研究所では平成12年3月15日に機構改革（一部）を行い、研修部は廃止、新たに対策支援部として出発した。ここに対策支援部の組織と活動を紹介する。

これまでの活動

結核研究所では昭和14年の設立以来、研究事業と並んで活発な研修活動を実施してきた。結核対策に携わる医師、保健婦への研修は昭和14年に開始され、昭和16年には結核予防指導看護婦養成所が開設された。その後対象も診療放射線技師、臨床検査技師、行政担当者へと順次拡大されていった。平成4年には、新たに若手結核対策専門家の育成を目的とした「結核対策指導者養成研修」が加わった。これまでの研修修了者は約7万人を数え、全国各地で結核対策に貢献している。

今回の「結核緊急事態宣言」により、結核研究所は従来の受け身の研修活動に留まらず、より積極

的に各地域の結核対策を支援する必要性を強く感じ、機構改革へと至ったのである。

これからの活動

対策支援部は従来の研修部門である医学科、放射線学科、保健看護学科に、新たに企画科を増設、事務部所属だった図書・情報科を加え、計5科で構成されている。各科の活動内容について以下に述べる。

## ①企画科

結核対策推進のための様々な事業の企画と普及啓発のための教材開発、及びアドボカシー活動（例―結核対策セミナー、公衆衛生学会における結核の自由集会、全国結核対策担当者のワークシヨップ等の企画など）県・市・保健所における集団感染対策の積極的疫学調査協力支援及び結核対策特別促進事業集の作成など。

## ②医学科

結核対策に係る医師の研修企画と実施。

## ③放射線学科

診療放射線技師の研修企画と実

施（結核対策を含む）、結核写真ライブラリーの作成、全国の胸部X線写真の評価活動など。

## ④保健看護学科

結核対策に係る保健婦、看護婦養護教諭等の研修企画と実施。

## ⑤図書・情報科

結核に関する図書の整備と充実を図り、現場で必要とされる情報を提供する。研修修了者へのニューズレター発行（予定）、発行動向の報告と解説（四半期ごとを予定）、ホームページの充実と質問への対応など。写真室・教材の開発協力及び資料作成など。

結核対策特別促進事業の相談及び支援等は各科で行っていくつもりであり、対策支援部だけでなく研究所職員が一丸となって結核対策を推進していく所存である。皆様のご協力をお願いします。